

【田中 昌弘先生抄録】

「食べる！」全部床義歯の人工歯排列

超高齢社会の現在、平均寿命と健康寿命の差は縮まらず、高齢者の方々は体に何らかの不調を抱えながら日々過ごされています。その中には口腔内の不調を抱えている方も多くおられることと想像します。ここ数年、歯科医院へ患者さん立ち会いに出かけることが多くなり、患者さんの生の声をお聞きする機会が増えました。信頼関係を築くと患者さんは素直に様々な疑問や訴えを口にされます。その中でも「義歯でも食べたい」という訴えは切実であり、私たち歯科技工士が行う人工歯排列の精度・確度がその満足度に大きく関与していることは言うまでもありません。

このたび東京都歯科技工士会よりお話をいただき、口腔内で機能する(食べることが出来る)全部床義歯の人工歯排列についての実習セミナーを開催する運びとなりました。全部床義歯が機能するとはどのような状態なのか。人工歯排列のセオリーが成り立つためには、どのような顎位になるのか。またその時の咬合平面の設定はどう考えるのか、デンチャースペースの概念に基づいた全部床義歯の基本と、人工歯の形態的特徴も含めた機能するための人工歯排列の基本をこの機会に一緒に学んでみましょう。

皆様のご参加をお待ちしております。